

開催報告

へちまの実からスポンジをつくろう

9月19日(土) 10:00~12:00 ★参加人数：12名（大人 8名、子ども 4名）

1. へちまのお話

講師 浜松へちま・ミライ 五明三佳氏

へちまの知識を深める

・植物としての特徴 ・へちまの歴史

・「プラスチックごみ問題」とのつながり

<<浜松市はかつてはへちまの産地だった!!>>

Q:1 受粉や実のらせ方は？

Q:2 収穫時期や実が落ちる原因は？

Q:3 へちまの繊維のきめの細かさを環境でコントロールできるのか？

★へちまの種 配布：来年、植えて育てましょう！！

3. 参加者の感想

- ・へちまの皮がつるんと剥けて面白かった！皮むきが楽しかった。
- ・へちまのたわしを作って楽しかった。また作りたい！
- ・へちまがスポンジになると初めて知った。
- ・へちまがちょっと微妙な臭いがした。
- ・へちまは捨てる場所がほとんどなく、地球に優しい植物だと分かった。ごみの減量を学ぶ良い機会になった。
- ・乾燥していない（青い実の）状態からでもスポンジが作れるとは驚きの新発見だった。
- ・茶色くなるまで置いたへちまを水に漬ければ、簡単に皮がむけてきれいな繊維の棒になるのが嬉しかった。
- ・浜松がかつてへちまの産地だったことを初めて知った。
- ・種をもらえたので来年ぜひ植えたい。たわしだけでなく、へちま茶など色々な方法で活用し周りにも普及させたい。

2. へちまの実からスポンジづくり

①乾燥したへちま：おしりから種を取り出す。→水につける。おしりの穴から水をいれて洗める。→水の中で皮をむく。→皮についている糸を取る。

②青い実のへちま：茹でる。→冷めたら水の中で皮をむく。

Q:1 どうカットしたら一番使いやすい？



皮むき



へちまの糸通し